



かけはし



文責：小倉

現地で学ぶ意味 「修学旅行」「水俣に学ぶ肥後っ子教室」

コロナ禍のもと、オンラインでの学びやバーチャルでの体験がにわかに注目を浴びてきました。しかし、このことは実物に学ぶことの価値を否定するものではありません。実際に自分の目で見て、写真や動画では気づかない大きさを実感し、現地にくらす人々の生の声を聞き、その場の雰囲気を感じるなかで、現地や過去の人々の思いや願いに触れることができます。まさに理解が実感に変わる時であり、これらの体験は代用のきかない貴重な学びです。

不知火小学校でも、「修学旅行」「水俣に学ぶ肥後っ子教室」「見学旅行」「校外学習」等、教室を飛び出し県内各所で学びを深めています。これからも現地での学びや本物に出会う学習を大切に取り組みでいきたいと考えています。



修学旅行 6年生

6年生は、6月6日、7日の2日間、長崎・佐世保方面への修学旅行を実施しました。

初日の長崎市では、語り部の田中安二郎さんの講話やフィールドワーク、平和集会を通して、原爆の恐ろしさや戦争の愚かさを、自分達の目と耳で確かめ、自分達の頭と心でしっかり考え、感じてくれました。そしてこれからの世界を担っていく自分達は、今後何をなすべきかに考えを広げてくれたように思います。



平和集会

2日目は、ハウステンボスでのグループ活動。それぞれの考えや想いをしっかり出し合いながら、話し合い、協力して活動ができたことも良い経験となったようです。

また、2日間を通して、学習に向かう姿勢や団体行動におけるマナーも大変立派で、バス会社の方やホテルの方々など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。これからも不知火小の憧れの6年生としての活躍を期待しています。



語り部講話

水俣に学ぶ肥後っ子教室 5年生

5年生は、5月31日に、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」で、水俣市のエコパーク水俣を訪れました。

午前中の熊本県環境センターで、環境問題について学び、地球のために自分達にできることを考えていきました。



資料館見学

午後は、実際に水俣病に苦しめられながらも前向きに生きる「語り部」さんの熱い想いに触れることができました。

今後は、現地での環境問題や人権問題を通し学び感じたことを、更に学校全体や御家庭に伝えることで、理解を深めていく予定です。



語り部講話

※ 「修学旅行」「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の様子は、不知火小ホームページの「学校生活」をご覧ください。

